

86

「馬力向上」「燃費改善」

スポーツマフラーチューン

- 加速する力・最高速が集中的に増加します。
- 一方、ゆったり加速・ゆったりブレーキで走るとパワーを抑えた分、大幅に燃費が向上します。
- 高性能車だけができる、もう一つのグレード P.B.S パワーマフラーチューンです。



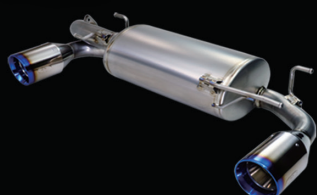
ステンレス製
テール部ポリッシュ



ステンレス製
テール部チタニウム製ブルー



オールチタニウム製
テール部ブルー



86

DBA-ZN6 マイナー後用 (H28/6~)

AT車/MT車共通 標準バンパー・モデルスタエアロ共通

ステンレス製 テール部ポリッシュ

GDE-407PO ¥94,000 (税抜)

ステンレス製 テール部チタニウム製ブルー

GDE-407BL ¥108,000 (税抜)

オールチタニウム製 テール部ブルー

GDE-407T ¥230,000 (税抜)

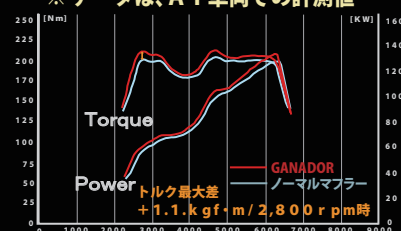
※超軽量チタンマフラーの装着により、車両後方のオーバーハング

重量の軽減により、コーナリングパフォーマンスが向上します。

燃費 +8.9%改善 (AT車両での計測値)

パワー +7.0ps トルク +0.8 kgf・m (0.5H)

※ データは、AT車両での計測値



※ データは、当社シャシダイナモでの計測値です。
※ ノーマルマフラーのデータ値は、車両個体差・気温・気候等の
条件によりメーカーカタログ公表値とは異なる場合があります。
※ 比較データ値は、全て同じ条件下で計測しています。

YouTube



「馬力向上」 パワーブーストシステムの説明

「燃費改善」



パワーブーストシステム（P.B.S）搭載スポーツマフラーとは、全く新しいチューニング・エキゾースト・システムです。その車種ごとの構成要素（エンジン型式・排気量・その取り回し・車両重量・車種特性）にベストマッチングするように設計と検証を繰り返された特殊な流体管理構造を組み込む事で、ノーマルエンジンに手を加えることなく、そのパワーを驚異的に強化できました。完全な車種別専用設計である事と、全く新しいテクノロジーで構成されたスポーツ走行向けマフラーです。

A 馬力の向上

徹底した車種別専用設計を行い、供給された燃料のみでトルク（登坂力）やパワー（高速走行時の馬力）を大幅に増強し、スポーツ走行型にセッティングしてあります。運転の爽快感が強調されることは無論のこと、先を急ぐ時のパワーの余裕がさらに拡大し、運転操作のゆとりが増します。それは、長距離運転で、疲労感の蓄積が少ないことで感じることができます。

B 燃費改善

一方で、帰路に就く時や、大切な家族がまどろんでいる時は流れに沿って、ゆったり加速、ゆったりブレーキ、ゆったり減速で運転（流れに沿うには、これで十分です。）すると、使わなかった分の燃料は、そのままタンクに残ります。結果として、今まで以上に大幅に燃費は改善されます。

C サウンド

サウンド（排気音）は、音域を低く抑え、心地よく響くよう調整しました。アクセルワークや、走行状態で絶えず変化を繰り返す快適なサウンドは、ドライバーのアクセルワークや思いにいつも反応して、運転を絶えずアシストします。

D

強化されたパワーと、機敏な反応、整ったサウンドは長距離ドライブで、ドライバーの体力を維持しながら注意力の減少を防ぎ、安全運転につながります。

E

弊社計測の、トルク、パワー、燃費改善の各データは全て公開しています。

ガナドール社の実走行燃費計測データの説明

注1. 吸気系・排気系すべてがノーマルの車両を基準としてセッティングしています。

注2. 燃費データは、通常の実走行による対比計測データです。（満タン法 下図①）

したがって、流れに沿ってエコスタート・エコブレーキをすると、さらに燃費は改善します。

※車載燃費計のある車両の場合、燃費計数値は新しいマフラーのデータが蓄積するまで、正確に表示せずマフラー装着後の走行距離が少し必要になる場合がありますので、ご注意ください。

計測条件 ● 満タン法によるガナドール社実走行燃費比較

① 満タン法 (同じ給油条件)

車両のタイヤ位置と向きを同一にし、同じ油面で給油しています。

●燃費比較計測は最も正確と思われる「満タン法」で行っています。

※給油時の注意
同一のスタンドにて、同じ車両の向き、同じタイヤ位置で停車し、同じ油面で正確に給油し計測しています。
(車載の燃費メーターでは正確に測定できませんので注意です。)

●走行距離 (km) ÷ 給油量 (L) = 燃費 (km/L)

→ 満タン給油時にオドメーターをリセット。

② 走行条件 (距離・速度を適正に保つ)

一般道や高速道路や山道をおりまわっています。

●【走行距離】ガナドール社参考データ
一般道 3.2 km (約21%)
高速道路 9.5 m (約63%)
山道 (登り・下り) 2.4 km (約16%)
※一般道のみでの走行や距離が短すぎる場合、測定精度が落ちます。

●【速度設定】ガナドール社参考データ
一般道及び山道は、交通法規に準じ、流れに合わせます。
高速道路は、法定速度にて運転。

③ 計測環境 (強風・雨・渋滞では中止)

悪天候の時はダメ
同じコンディションで測定しています。

● 同じ気温・気象条件で行っています。

● 強風・雨天などの悪天候、朝夕のラッシュ時を避け、同じ条件の日に実施。

→ 途中で渋滞や強風が発生したら中止し、初めからやり直します。

④ 全く同条件で運転 **重要!** (加速時間と所要時間が同じであることが最も大事な条件)

ノーマルマフラーで50km/hまでの加速時間が50秒の時、ガナドールマフラーの時も同じ50秒で加速しています。

● 同じ距離を、同じ加速、同じスピード、同じ所要時間で計測をしています。

【良い例】例えば、ノーマルで50km/hまでの加速時間が50秒の時、ガナドールマフラーの時も同じ50秒で加速するの比較条件。

【悪い例】加速が早く、所要時間が短かった場合、アクセルを踏み込み過ぎていて比較計測になりません。

→ 燃費改善効果が得られません。

計測風景

